

シリーズ

埼玉の隠れた銘品百選

⑥

旭信竿

(有限会社 旭信)



石鯛竿 3本継 螺鈿塗り

独自の和竿の世界を切り開く

天然の竹と本漆を用いた関東竿の流れを汲み、
明治から歴史を重ねてきた旭信竿。
和竿独特の「感度と粘り」が愛好家の間で再評価されている。

太公望という言葉があるが、世の中、釣りが道楽という人はどこにでもいる。釣りファンにとって、釣り竿は宝物であり、癒しである。

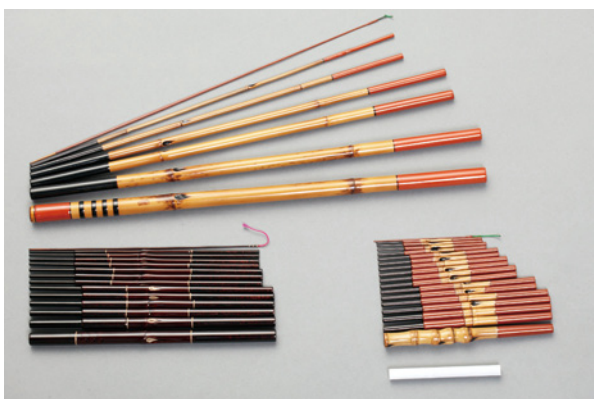
機能性の高いカーボン竿やグラス竿が全盛の時代、歴史ある竹竿に芸術品としての価値を盛り込むことで、釣りファンの心を捉えている。一枚の青貝を曲面に加工した螺鈿塗りは、故三代目旭信・野本正信氏が編み出した秘伝の技である。

と同時に、「売れなければ伝統は継げない」との思いから、芸術品に偏り過ぎることを戒める。ほぼ手作業の60にも及ぶ製造工程を、自前で5人の職人が作り上げる。

「桶川市ふるさと納税」の返礼品にしたところ、高額の寄附を要するにも拘らず、遠方各地からの返礼品指定が相次いでいるという。



カーボン素材使用タイラバ竿



たなご竿



工房

- 有限会社 旭信
- 明治創業
- 昭和56年 螺鈿塗り技法で特許取得
- 平成2年 三代目旭信が黄綬褒章を受章
- 平成9年 現社長が四代目旭信を襲名
- 代表者：野本 公敬
- 〒363-0009 桶川市坂田東1-36-2 TEL：048-728-0219
- (桶川支店取引先)